

平成28年度 事業報告書

第1 交通情勢

平成28年中における県内の交通事故発生状況は、次のとおりである。

- 発生件数 2, 373件 (前年対比 -187件 -7.3%)
- 死者数 73人 (前年対比 -7人 -8.8%)
- 傷者数 2, 971人 (前年対比 -249人 -7.7%)

発生件数、死者及び負傷者数とも減少し、特に、発生件数と負傷者は、13年連続で減少した。しかし、相変わらず、飲酒運転や歩行者保護義務違反等の悪質危険違反によるものが後を絶たないほか、高齢者の死者も49人で、全死者数に占める比率が67.1%と、全国平均54.8%を上回るなど、県内の交通情勢は、極めて憂慮すべき情勢下にある。

第2 協年会費の収納

盛岡運転免許センターにおける入会状況は、次のとおりである。

- 更新会員 12, 420人
- 新規会員 524人
- 計 12, 944人

なお、協年会費の総額は、29, 897, 500円となり、入会者の住所地区交通安全協会に送付している。

第3 会員対策の推進

1 窓口における推進状況

- (1) 盛岡運転免許センターでは、交通安全協会の役割や活動事例を紹介するリーフレットを配布し、シートベルト着用促進見舞金制度やチャイルドシートの貸出等の特典を説明し、希望者には免許証ケースの配付等も行って入会を勧誘している。
- (2) 各センターに設置のプラズマディスプレイ（高画質液晶映像システム）やテレビを活用して、交通事故防止及び協会の活動についての広報を実施している。
- (3) 新規免許取得者の入会率の向上を図るため、学科試験合格者に交通安全協会の活動内容を記載したリーフレットを配布し、交通安全の重要性を訴えて入会勧誘を行っているほか、入会者に対する初心者マーク配付のサービスを推進している。
- (4) 公共の場所における入会勧誘であることから、誤解を招くような言動等を行わないことや、あくまで任意加入であることを説明するよう指導している。
- (5) 本部においても、チャイルドシート貸出業務時、非会員に対して交通安全協会の活動等を説明の上、入会勧誘を行っている。

2 体験型講習会等における推進状況

各種講習会やイベント会場等において、自転車シミュレーターや視野診断計等の体験型交通安全教育資器材を積極的に活用した交通安全教育を推進するとともに、その機会を捉えて交通安全協会活動についての広報を実施している。

3 各種広報メディア利用による推進状況

マスコミを通じて広報を実施するとともに、各種広報資料の内容の充実に努めた。また、当協会ホームページの全面リニューアルが終わったことから、各地区協会の交通安全活動等を画像で紹介しているほか、若年者の入会向上対策として、携帯やスマートフォンサイトを設けて協会活動や入会特典等の広報を推進している。

第4 主な交通安全啓発活動

1 広報活動の推進

警察及び関係機関・団体との緊密な連携の下、岩手県交通安全対策協議会が主唱する平成28年度「正しい交通ルールを守る県民運動」実施要綱に基づき、次の活動を重点として推進した。

(1) ライトの早め点灯・反射材用品等の活用

- 夜間の高齢者の歩行中や自転車乗用中の交通事故を防止するため、反射材の有効性について広報啓発活動を強化し、反射材・LEDライトの活用普及に努めた。
- 夕暮れ時のライトの早め点灯及び夜間の原則ハイビーム走行について、広報活動を推進するとともに職員による率先点灯を励行した。
- 上記施策に加えて、右からの横断者、左からの車に注意を促す3（サン）ライト運動を推進した。
- 自動車運転免許試験場売店及び各運転免許センターに反射材を紹介するボードを掲示して、窓口において販売するなど、その普及促進に努めた。

(2) スピードダウンの徹底

- 各種行事の機会を活用し、スピードオーバーのもたらす危険性や気象、路面状態等交通環境に応じた適正なスピードによる安全運転の励行等についての広報活動を推進し、スピードダウン気運の醸成に努めた。

(3) 後部席を含めた全ての座席のシートベルト・チャイルドシート着用

- シートベルト・エアバッグ爆発・衝撃体感装置を活用した体験型講習会の開催を通じて、その着用効果と必要性について広報活動を推進した。
- チャイルドシートレンタル事業を通じて、チャイルドシート着用の必要性と効果について認識や安全意識の高揚を図り、正しい着用方法を指導することで、シートベルト・チャイルドシート着用の促進に努めた。
- 特に、一般道における後部座席のシートベルト着用率が低いことから、すべての座席での着用について広報活動を推進した。

(4) 飲酒運転の根絶

- 「ハンドルキーパー運動」を県民運動として定着させるため、関係機関・団体と連携して広報啓発活動を推進した。
- 各種講習会やイベント会場において、飲酒運転体験ゴーグル等の交通安全教育資器材を積極的に活用し、飲酒運転の危険性と反社会性について周知させるとともに、酒酔い運転の罰則や行政処分についての広報活動を推進した。

(5) 自転車の安全利用の推進

- 自転車利用者に「自転車は車両である」ことを自覚させるため、左側通行やブレーキ整備不良車運転の禁止等交通ルールの遵守と交通マナーの実践について広報し、安全な自転車利用を推進した。
- 県下子供自転車大会の開催や自転車シミュレーターを活用した子供達対象の体験型交通安全講習会を開催して、安全な乗り方を周知させた。

2 交通安全活動資料の作成・配布

各季交通安全運動を中心に広報資料を作成し、地区交通安全協会及び関係機関・団体等に配布した。

- 春の全国交通安全運動用ポスター 2, 950 枚
- 秋の全国交通安全運動用ポスター 2, 350 枚
- 交通安全県民運動用チラシ 45, 000 枚
- 黄色い羽根 50, 000 本

3 交通安全資器材レンタル事業の推進

(1) チャイルドシートの貸出

自動車乗車中の子供の被害軽減を図るため、チャイルド（ベビー）シートのレンタル事業を実施し、会員等のべ498人に625台を貸し出すなど、会員サービスの向上とチャイルドシートの普及促進を図った。

(2) 交通安全教育DVDの貸出

内容の充実した交通安全教育ビデオ及びDVDの整備充実に努めるとともに、団体や事業所・学校に、ビデオ及びDVD計252本を貸し出すことで、交通安全教育の支援と交通安全意識の高揚を図った。

4 会報の発行

各種交通安全施策をはじめ交通安全協会の活動状況を紹介した機関紙「交通いわて」を、年4回合計28,000部発行して関係機関・団体に配布し、協会の活動について理解の促進を図った。

5 各種メディアを活用した広報活動

テレビ岩手、岩手朝日テレビ、岩手めんこいテレビ及びエフエム岩手の協力を得て、県交対協が主唱する「平成28年度正しい交通ルールを守る県民運動」の季節ごとの広報重点にあわせ、年間を通じて「岩手県警察本部・岩手県交通安全協会協力」のロゴ入りの交通安全キャンペーン放送あるいはスポット放送を行うとともに、岩手日報社、読売新聞社等にも交通安全運動キャンペーンを掲載するなど広報活動を推進した。

6 参加・体験型講習会への教育資器材の貸出

各警察署や地区協会が主催するイベント及び交通安全教室に対し、自転車シミュレーター、酒酔い運転体験ゴーグル、視野診断計等の教育資器材を貸し出すことで、県民の交通安全意識の高揚と協会活動に対する理解の促進を図った。

- 貸出回数 93回 受講者総数 5, 362人

第5 会議の開催

1 正・副会長会議及び理事会の開催

(1) 5月17日（火）当協会会議室

第1回正・副会長会議を開催し、定時総会の議題について協議した。また、監事による平成27年度決算に対する監査会も実施された。

(2) 5月26日（木）当協会会議室

第2回正・副会長会議及び第1回理事会を開催し、平成27年度事業報告及び同収支決算書、平成28年度事業計画（案）及び同収支予算書（案）等を審議した。

(3) 6月7日（火） エスポワールいわて

定時総会終了後、新役員による第2回理事会を開催し、菊地次雄理事が新会長に、小野寺國男、深澤剛、海鋒守の各理事が新副会長に選任された。

(4) 11月21日(月) 当協会会議室

第3回正・副会長会議及び第3回理事会を開催し、平成28年度上半期の予算執行状況及び交通事故入院見舞金制度の運用状況等について審議した。

2 定時総会の開催

6月7日(火) エスポワールいわて

平成27年度事業報告及び同収支決算書の承認、平成28年度事業計画(案)及び同収支予算書(案)並びに任期満了に伴う新理事及び監事の選任等について審議した。

3 事務局長会議の開催

当年3月7日(火) 当協会会議室

前半で当面の協会運営上の諸問題を協議し、後半では、「会員加入向上方策」を議題として協議した。

第6 会議等への出席

1 東北交通安全協会総会

6月16日(木) 秋田市内において開催され、当協会から会長及び専務理事が出席し、平成27年度事業報告・同収支決算報告並びに平成28年度事業計画・予算(案)等の審議が行われ、引き続いて表彰式も開催された。

2 東北・北海道交通安全協会専務理事・事務局長会議

9月8日(木) 札幌市内において開催され、当協会から専務理事及び事務局長が出席して、当面の協会運営上の諸問題について協議した。

3 (公財)日本交通管理技術協会東北・北海道ブロック会議

10月13日(木) 青森市内において開催され、当協会から専務理事と業務主任が出席して、TSマークの普及等について協議した。

4 正しい交通ルールを守る運動県民大会

10月26日(水) 盛岡市内において開催され、会長以下が出席して岩手県交通安全対策協議会長表彰、高校生交通安全テレビCMコンテストの審査及び表彰等が行われた。

5 全日本交通安全協会理事会及び都道府県交通安全協会専務理事会議

当年3月22日(水) 東京都内において開催され、当協会から専務理事が出席した。

6 その他

- (1) 地域交通安全活動推進委員全国研修会 (6月10日 東京 業務課長、委員)
- (2) 東北交通安全協会職員研修会 (11月17日 仙台市 盛岡分室長、業務主任)
- (3) 自転車特別指導員研修会 (11月17日 東京 交通公園主任)

第7 交通安全競技会及び講習会の開催

1 第49回交通安全子供自転車岩手県大会(共催:岩手県警察本部 後援:岩手県)

児童に対する交通安全思想の普及、交通ルール及び交通安全の知識・技能を習慣付けさせることを目的として、6月20日(月) 岩手県営運動公園内交通公園において開催した結果、3チーム12人が参加し、成績優秀なチーム及び個人に対して県警察本部長及び当協会長名の賞状、副賞を授与した。

(1) 団体の部

優勝	奥州市立玉里小学校 B チーム
準優勝	奥州市立玉里小学校 A チーム

第3位 一関市立新沼小学校 A チーム

(2) 個人の部

第1位 菊池 美沙 (玉里小学校)

第2位 懸田 雄斗 (同)

第3位 高橋 一颯 (同)

また、本チーム以外に6人がオープン参加し、その中で

長根 志歩 (玉里小学校)

後藤 拓斗 (同)

松本 遊碧 (同)

の3名が賞揚された。

2 第48回二輪車安全運転岩手県大会の開催

(共催：岩手県二輪車普及安全協会 後援：岩手県警察本部)

二輪運転者の安全運転技能の向上と交通安全意識の高揚を図ることを目的として、7月9日(土)自動車運転免許試験場において、二輪車安全運転岩手県大会を開催した結果、男性12人、女性3人が参加し、成績優秀者に対して、県二輪車普及安全協会会長及び当協会会長連名の賞状、副賞を授与した。

○ 一般Aクラスの部 優勝 細田 直人 (滝沢市)

○ 一般Bクラスの部 優勝 橋場 長次 (滝沢市)

○ 高校生等クラスの部 エントリーなし

○ 女性クラスの部 優勝 遠藤 恵 (滝沢市)

3 全国大会への出場

(1) 第49回二輪車安全運転全国大会

8月6日(土)から2日間、三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開催され、前記県大会の優勝者3名が本県代表として出場し健闘した。

(2) 第51回交通安全子供自転車全国大会

8月3日(水)東京都区内で開催され、前記県大会優勝校の奥州市立玉里小学校が本県代表として出場し39位と健闘した。

なお、両大会とも、当協会事務局員が同行して選手の支援等に従事した。

第8 講習会の開催

1 スーパーシニア・ドライバーズ スクールの開催 (共催：日本自動車連盟岩手県支部 後援：岩手県警察本部)

10月29日(土)紫波中央自動車学校において、高齢運転者の交通事故防止を図るため、参加体験型の交通安全講習会「スーパーシニア・ドライバーズ スクール」を開催した。

2 グッドライダーミーティングの開催 (共催：岩手県二輪車普及安全協会・岩手県軽自動車協会 後援：岩手県警察本部)

5月15日(日)、7月17日(日)、9月25日(日)の3回にわたり、自動車運転免許試験場において、二輪利用者の交通安全意識の高揚を図るため、参加体験型の交通安全講習会「グッドライダー ミーティング」を開催した。

第9 各季の交通安全運動の推進

○ 春の全国交通安全運動 (4月6日～4月15日)

- 交通事故死ゼロを目指す日 (4月10日、 9月30日)
- 夏の交通事故防止県民運動 (8月 1日～ 8月10日)
- 秋の全国交通安全運動 (9月21日～ 9月30日)
- 高齢者の交通事故防止県民運動 (10月17日～10月31日)
- 冬の交通事故防止県民運動 (12月 1日～12月10日)

上記の交通安全運動の効果的な推進を図るため、関係機関及び団体と連携し、広報資料の配布やラジオのスポット放送、広報車による広報等を重点として推進した。

第10 交通安全功労者等の表彰

1 警察庁長官及び全日本交通安全協会長連名表彰

本年1月20日(金)東京都文京シビックホールにおいて、「第57回交通安全全国民運動中央大会」が開催され、その席上において次のとおり表彰された。

(1) 交通栄誉章「緑十字金章」

- 交通安全功労者 新沼 克雄 (気仙地区)
- 菊池 芳子 (遠野地区)

(2) 交通栄誉章「緑十字銀章」

- 交通安全功労者 大森 静子 (盛岡地区)
- 吉田 實 (紫波地区)
- 高橋 松榮 (北上地区)
- 佐々木萬太郎 (釜石地区)
- 大棒 レオ子 (宮古地区)
- 優良運転者 佐々木正儀 (水沢地区)

2 全日本交通安全協会長表彰

上記「第57回交通安全全国民運動中央大会」席上において、次のとおり表彰された。

- 優良都道府県交通安全協会 岩手県交通安全協会
- 優良地区交通安全協会 岩手県東磐井地区交通安全協会
- 優良団体 盛岡交通安全協会大釜南分会
- 交通安全優良学校 一関市立松川保育園

3 全日本交通安全協会長交通栄誉章「緑十字銅章」表彰

- 交通安全功労者 30名
- 優良運転者 90名

4 東北管区警察局長・東北交通安全協会長連名表彰

- 交通安全功労者 19名
- 優良運転者 18名
- 優良地区交通安全協会 二戸地区交通安全協会
- 交通安全優良団体 遠野地区交通安全母の会連合会
堀野町内会交通安全部
- 交通安全優良学校 岩手町立久保小学校
宮古市立山口小学校

5 岩手県警察本部長・岩手県交通安全協会長連名表彰(春・秋)

- 交通安全功労者 56名
- 優良運転者 611名
- 優良団体 18団体

第11 交通安全活動推進センター事業の推進

道路交通法第108条の31に基づき、岩手県公安委員会から交通安全活動推進センターとして指定を受け、次の事業等を実施している。

1 地域交通安全活動推進委員連絡協議会に関する事務

連絡協議会の連絡調整、会報の発行を年4回、委員が適切に任務を遂行するためのブロック研修会の開催を年4回実施した。

2 その他の事務

道路の適正な利用に関する広報活動や道路使用許可にかかる道路調査及び交通事故相談業務を適正に推進した。

- 道路使用許可調査 11,379件（前年度対比 -2,610件）
- 交通事故相談 0件（前年度対比 -5件）

第12 委託業務の推進

1 運転免許にかかる講習事業の実施

(1) 更新時講習の実施

更新時講習は、受講者の年齢層や運転経験が多岐にわたっていることから、身近に発生した交通事故を具体的事例として取り上げるなど、重点を絞った理解しやすい講習を行うように配意した。

また、特定任意講習については、同一水準の講習ができるよう、適正な会場の選定や地域の交通事情に即した講習内容となるように努めた。

- 優良運転者講習 101,413人（前年度対比 -1,112人）
- 一般運転者講習 27,359人（前年度対比 -1,025人）
- 違反運転者講習 19,359人（前年度対比 -1,075人）
- 初回運転者講習 10,375人（前年度対比 -261人）
- 特定任意講習 621人（前年度対比 -23人）
- 計 159,127人（前年度対比 -3,496人）

(2) 停止処分者講習の実施

運転適性検査器（CRT）及びシミュレーターなどの資器材の効果的な活用を図ったほか、実車指導能力向上のための研修を行うなど適正な講習の実施に努めた。

また、「飲酒学級」については、酒酔い体験ゴーグルによる体験型講習を実施するなど、飲酒運転防止のための取り組みを強化した。

- 長期 131人（前年度対比 -29人）
- 中期 212人（前年度対比 -41人）
- 短期 1,262人（前年度対比 -139人）
- 計 1,605人（前年度対比 -209人）

(3) 違反者講習の実施

社会参加活動参加者について、より効果の上がる活動場所や時間帯の選定に配意したほか、実車希望者については、法令遵守を重点とした指導を行った。

- 社会参加活動 102人（前年度対比 -16人）
- 実車講習 295人（前年度対比 -135人）
- 計 397人（前年度対比 -151人）

(4) 原付技能講習の実施

運転免許試験場や各運転免許センターにおいて、原付免許の新規取得者に対して、道路交通の実態に応じた運転実技講習を実施した。

○ 自動車運転免許試験場	192人	(前年度対比	-35人)
○ 県南運転免許センター	326人	(前年度対比	59人)
○ 沿岸運転免許センター	20人	(前年度対比	-4人)
(三陸自動車学校コース借用)			
計	538人	(前年度対比	20人)

2 その他の委託業務

(1) 自動車保管場所調査及びデータ入力業務

自動車保管場所現地調査及び同データ入力業務を実施した。

○ 現地調査業務	77,767件	(前年度対比	3,945件)
○ データ入力業務	80,833件	(前年度対比	2,463件)

(2) パーキングチケット管理業務

盛岡市内の時間制限駐車区間に設置されたパーキングチケット発給設備の管理及び手数料の収納及び同区間の適正な駐車の確保に関する指導を行った。

(3) 「運転免許更新連絡書」等の発送業務

運転免許の更新者に対して「運転免許更新連絡書」の発送業務を行った。

○ 運転免許更新連絡書	201,103人	(前年度対比	-3,658人)
○ 高齢者講習受講通知書等	42,341人	(前年度対比	2,858人)

(4) 住所地以外の公安委員会を經由した免許証代理受領・郵送業務

優良運転者に対して行う住所地以外の公安委員会を經由した免許証の更新申請について、免許証の代理受領・郵送業務を適正に行った。

○ 受理件数	131件	(前年度対比	-3件)
--------	------	--------	------

(5) 交通公園指導業務

(公財)岩手県スポーツ振興事業団から委託を受けた交通公園事業について、施設の適正な管理と利用者の安全確保を徹底するとともに、自転車の安全な利用や正しい乗り方についての交通指導を行った。

○ 交通安全講習会	45回	受講総人員	1,923人
○ 一般来場者	42,368人		

第13 部外団体イベント等への後援・協力

○ IBC交通安全キャンペーン	(IBC岩手放送)
○ 交通安全キャンペーン	(テレビ岩手、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、めんこいテレビ)
○ 盛岡市交通安全教室	(盛岡市)
○ 岩手県交通安全公共パネル展	(県屋外広告美術業協会)
○ 飲酒運転撲滅キャンペーン	岩手朝日テレビ・めんこいテレビ)
○ 黄色い手帳運動	(テレビ岩手)

第14 交通安全事業に対する寄付の受納

○ 10月25日	小さな親切運動県本部	反射材	2,115個	(10万円相当)
○ 5月9日	岩手朝日テレビ			30,000円
○ 11月8日	岩手朝日テレビ			30,000円

○	1月13日	岩手朝日テレビ	30,000円
○	3月31日	エフエム岩手	チャイルドシート4台
○	3月15日	岩手トヨタ自動車	チャイルドシート10台

第15 その他

1 岩手県交通安全母の会連合会の事務局業務

岩手県交通安全母の会連合会の業務を適正に運営するため、指導及び助言を行うとともに、6月24日（金）当協会会議室において通常総会、9月15日（木）盛岡市内ホテルにおいて、交通ボランティア等東北ブロック研修会等の開催を通じて、各関係機関・団体との効果的連携に努めた。

2 交通安全功労者顕彰会の事務局業務

交通安全活動に多大な功労があった交通警察官及び交通指導員を表彰する「岩手県交通安全功労者顕彰会」を、12月2日（金）エスポワールいわてにおいて開催し、本年度の交通安全功労者として選考された警察官1名、交通指導員2名を表彰するなど、顕彰会事務を適切に推進した。

3 自転車安全教育指導員講習会の開催

岩手県教育委員会との共催で、自転車の安全教育に従事している交通指導員及び学校教諭で自転車安全教育の指導に携わる58人に対し、県内5地区において自転車の安全な乗り方指導者講習会を開催し、新規30人の指導員について認定登録を行った。

4 TSマークの普及活動の推進

自転車の安全利用の推進と自転車事故にかかる被害者の救済を目的として、（公財）日本交通管理技術協会との業務契約に基づき、県警察及び県自転車・二輪車商業協同組合と連携しTSマークの普及のための各種施策を推進した。

5 県収入証紙の売りさばき事業

自動車運転免許試験場及び盛岡運転免許センター窓口において、各種講習受講者に対する県収入証紙の売りさばきを行い、利用者の利便を図った。